

審議会等の会議の記録

会 議 の 名 称	第2回伊勢崎市スポーツ推進審議会
開 催 日 時	令和5年3月16日(木) 午後2時00分～午後3時40分
開 催 場 所	アイオーしんきん伊勢崎アリーナ(市民体育館) 会議室
出 席 者 氏 名	【委員】 小野里会長、反町副会長、細貝委員、中野委員、石川委員、狩野委員、長岡委員、結城委員、齊藤委員、清水委員、平林委員 【事務局】 阿佐美健康推進部副部長、星野スポーツ振興課長、八野田スポーツ振興係長、湯本主査、村岡主査、田端主事
傍 聴 人 数	0人
会 議 の 議 題	スポーツ振興とeスポーツの関わりについて
会 議 資 料 の 内 容	・ 会議次第 ・ スポーツ振興とeスポーツの関わりについて ・ 意見交換
会 議 に お け る 議 事 の 経 過 及 び 発 言 の 要 旨	1 開会 2 挨拶 3 議事 (1)スポーツ振興とeスポーツの関わりについて eスポーツの概要、行政機関の担当課、先進事例、スポーツ振興課の考え方を事務局より説明。以下の意見が委員より出された。 (意見の概要) ア eスポーツのメリットについて ・ eスポーツからプログラミングに興味を持ったり、他者とのコミュニケーションを学んだりすることもできるので、活用方法を検討した方が良い。 ・ 年齢、性別、障害の有無に関係なくできるので、幼児教育、認知症予防等に活用できるのではないかと。 ・ 活用方法によっては、地域コミュニティの創出、地域振興、文化観光等で良い効果が得られるのではないかと(企業のバックアップが必要)。

イ eスポーツのデメリットについて

- ・ゲーム障害、依存症、重課金等が懸念されるので、対応が必要となる。
- ・eスポーツのやりすぎにより、子どもが体を動かす機会が減る可能性がある。

ウ 幼児、生徒等とeスポーツの関わり方

- ・現在、伊勢崎市内の中学校ではeスポーツ部はなく、設立の動きもないが、あった場合は生徒、教師に対するeスポーツとの向き合い方の教育が必要である。
- ・家で長時間ゲームをしたり、YouTubeを見たりする幼児が増えてきている。親に対する教育も必要となるのではないかな。

エ スポーツ振興課とeスポーツの関わり方

- ・eスポーツはスポーツというよりも、市場経済との結びつきが強い。スポーツ振興課が取りまとめるのは違うと考えられる。
- ・eスポーツは、産業、経済、文化、観光、地域交流、教育、高齢福祉、健康、IT等の多岐にわたる分野との関わりがあるので、スポーツ振興課が担当となるのは負担が大きいのではないかな。
- ・関わる分野が複雑なため、分野によって担当課を決めてはどうか。

オ その他

- ・eスポーツからスポーツに興味を持ち、実際に屋外で運動するようになれば良い効果が得られる。
- ・市内でどれだけの人がeスポーツを行っているのかを調査する必要があるのではないかな。
- ・身体的動きを伴うものがスポーツであるので、eスポーツをスポーツに当てはめるのには無理がある。

(結論)

eスポーツは新たなジャンルのコンテンツであり、産業経済、地域交流、高齢福祉等の多岐にわたる分野と関わりがあるので、スポーツという一つの概念で考えない方が良い。メリット・デメリット、活用方法等をよく精査し、スポーツ振興課が主担当となるのではなく、もう一度市としてどのように関わっていくのかを検討した方が良い。

4 その他

次回開催予定

5 閉会